

スタートラインの理念

安心

毎日笑顔で
過ごせる居場所。

尊重

それぞれの
個性を尊重した
仲間づくり。

主体性

自分の足で
まず一歩
踏み出そう。

代表理事

藤橋 喜世子

中学校で保健体育の教諭として39年間従事する。生徒指導、特別支援コーディネーターを兼務。
退職後、フリースクール「スタートライン」を設立。

●行動心理士
●総合心理カウンセラー

スタートラインは学校や家庭・地域の中で馴染めず、自分らしく過ごすことができない子どもたちのための「第3の居場所」です。

学校に行かないことを否定されず、思い悩むことなく、のびのびと自分の未来を見つめていける、そんな子どもたちの育成を目的として設立いたしました。

私にとって、子供と一緒に喜んだり、笑ったりして過ごす時間は本当に楽しく、自分自身の学びの場でもあると思っています。心から一人ひとりと向き合い、自分にしかできない子供との世界をユーモラスに作り上げていく、そんなことを考えるだけでワクワク、ドキドキします！

スポーツは何でも大好きです。特に海が好きで、ダイビングにハマっています。美しい海の世界は日頃の慌ただしい時間を忘れさせてくれます。いつか子供たちと一緒にダイビングが出来る日がくれば…と夢見ております。

まずは勇気を出して私たちと一緒に、一歩前に踏み出してみましよう！

＊今、ここから――。

ここがみんなのスタートラインです。



対象 小学校5年生～中学3年生

学校には行かずに、未来への一歩を踏み出そうとする
お子さんが対象です。

料金

入会金	50,000円
週5回コース	40,000円/月
月12回コース	25,000円/月
月4回コース	15,000円/月

▶家族面談：月一回（無料）

現在の様子から進路相談まで、個別でゆっくりお話ししましょう。
※ご希望の場合は、上記回数以外にも面談させていただきます。（有料）

▶体験・見学：随時受付しております。お問い合わせください。

今、ここから。
スタートライン

●お気軽にお問い合わせください。

TEL.06-6736-1515

〒579-8013
大阪府東大阪市西石切町5丁目2-17
ルクソール石切602

FAX 06-6736-1516

E-mail info@startline-fs.com

facebook



笑顔がいっぱい、
のびのびほっとできる
第3の居場所。



／今、ここから。／

スタートライン

「スタートライン」ってどんなところ？

自分らしく、あるがままで
いれる居場所です。

ココが違う！

スタートラインのPOINT

1. 生き方を学ぼう！

勉強も大切。自分の足で
踏み出せる生き方も大切。
一緒に学んでいきましょう！

まず一歩から
踏み出そう！

2. いろんなことに チャレンジしよう！

やってみたいことを
みんなで決めていこう！
ゲストティーチャーを
招いて学ぶことも。

英会話

畑作り

パソコン

スポーツ

習字

お華

着付け

etc...

3. 人との出会いを 大切に。

それぞれの個性を尊重し、
違いを認め合った
仲間づくりを
めざしましょう。



他にも
いろんなことを
やってみよう！

4. 安心・安全が モットー！

「～しなさい」
「～するべき」は一切ナシ。
「学ぶ・知る」の欲求は、
安心・安全の環境の中から
育つと考えるからです。

5. 自分の ペースで。

何事も自分のペースで、
ゆっくりと。
失敗があっても大丈夫！

体を動かすことが
大好き、
元・体育教師です！

好きな食べ物
たこ焼き

海が
大好き！

代表理事
藤橋 喜世子

みんな
あなたの
味方です！

ある日のスケジュール 一例

9:00 入室

9:30

今日は畑作りに挑戦！
いろんな野菜を植えてみよう。

12:00 お昼休憩

みんなで弁当タイム
体を動かしたあとの食事が
美味しいね！

13:00 フリータイム

先生や仲間と語り合ったり、
自分の興味のあることを
楽しんでOK！

14:30 ミーティング

明日は何する？
みんなのやってみたいこと
話し合おう！

15:00 退室

また明日！

何時に来て、
何時に帰っても
OK！

生活のリズムを
つくりよう。

「スタートライン」は
週5日(月～金)、
9時から15時まで。

設立のきっかけ

『先生、僕のこと覚えていますか？』

天職だと思っていた教師という職業の退職が近づいた5年前のこと、招待された教え子の結婚式で、一人の生徒にそう声をかけられました。

ところがどんなに思い出そうとしても、その生徒の名前が出てこないのです。

困惑していると、

「僕、出席番号、一番やったよ。」

と言われました。

それでもわからなかった私にその生徒は、

「仕方ないよ。だって、ずっと学校行ってなかったしなあ。先生は何回か来てくれてたけど、会えなかったりして…。覚えてなくても仕方ないわ。」と言われました。

その時のショックは今でも忘れられません…。39年間の教師生活の中で、いわゆるヤンチャな子供達には真正面からぶつかってこられたと自負しています。でも不登校の生徒にも、それと同じ熱量で関わってこれたのだろうか…？

そんな疑問に気づき、強い衝撃を受けたのです。

それから今までの自分の教育観は本当に正しかったのか？と考えようになりました。

その時出来なかった自分の思いを全部出し切りたい！そんな思いを持ち、当スクールを立ち上げるに至りました。

どんな事情であれ、不登校の子供達に第3の場所を作る、そこから元気いっぱい自分らしく成長していく……。

子供達のその姿を見ることが、現在の私の夢なのです。

趣味は
ダイビング

